

## Xバンドレーダー基地配備における環境影響調査について

【ばば】 日本共産党のばばこうへいです。まず初めに米軍レーダー基地等の問題などについて伺います。経ヶ岬への米軍レーダー基地の設置について、知事が協力を表明したことは非常に重大なことだと考えている。知事の表明以降も、アメリカ国内でのXバンドレーダーの訓練の際に作成された、環境への影響に関する報告書のなかで、発電機でのジェット燃料の使用、こうしたものによる影響、冷却水などの排水などによる影響など、新たな問題が次々と出てきています。この報告書の中身について、総務常任委員会、決算委員会での書面審査でも、「承知をしていない」との答弁がされている。しかし、地元の住民の皆さんにとっては、どれもきわめて重大な問題です。そこで伺いますが、この報告書について、国には当然確認をさせていただいていると思うが、国からはどのような説明がされたのか。また、知事はどのように考えているのか明らかにしていただきたい。

【知事】 Xバンドレーダーについては、この報告書はマーシャル諸島における実験の際の報告書とうかがっているが、ジェット燃料を使用するTPYレーダーの発電機ではなくて、ディーゼルエンジンの発電機を使用するといった記述もあるので、現在、府から防衛省に対して説明を求めている。現在、防衛省から報告書の詳細についてアメリカに確認されている。ただ、実際に車力の方では、ディーゼルの発電機ということになっている。

【ばば】 正確なところは今、アメリカに確認しているということだが、こうした問題がまだわかっていないということ自身が、地元にとっては非常に大きな問題だと思う。協力表明された根拠そのものが大きく揺らいでいる、という様に考える。明確な回答が得られないのであれば、協力表明に関しては撤回するべきだと思うがどうか。

【知事】 今、答えたように車力の方でもディーゼルエンジンですし、あとは東北電力からの直接電力を使っている。われわれについては、排ガスも含めて、これは当然そうしたものがでてきたならば調査対象になるので、しっかり確認をしていきたいと思っている。

【ばば】 何もわかっていない、という現状のなかで、知事が言ったように「安心安全の確認がされた」ということそのものが揺らいでいるのではないかと私は言っている。次々に出てくるこうした問題、懸念も含めて、住民の皆さんの安心安全は保障される、と言われながら、「軍事機密」であったりとか「アメリカとの関係がある」、さきほどいわれたように「アメリカに今、問いあわせている最中である」、こんなことばかりでまったく明らかにされない。こうしたことが、地元住民の皆さんの大きな不安や怒りになっています。

## オスプレイのあいば野演習での飛行ルートの事前説明について

そこでもうひとつお聞きしますが、饗庭野での日米合同演習で住民の反対の声を押し切って、オスプレイの訓練参加が強行されました。地元自治体からは要望を出されていましたが、オスプレイの飛行ルートについて事前もしくは事後において、その詳細は明らかにされたのか。

【知事】 飛行ルートの説明について事前にはなかったもので、訓練当日、担当職員がオスプレイの乗務員の米海兵隊員に直接質問するなかで、だいたい岩国飛行場から直線的に飛行してきた、との概ねの飛行ルートの説明を受けましたが、国からは正式な説明がないので、日米協同訓練終了後、担当部局から防衛省の近畿中部防衛局に抗議をおこなった。この点については滋賀県でも同様に説明がなかったことから、今後も引き続き事前に知らせていただくよう、関西広域連合を通じてあらためて要請していきたいと考えている。

【ばば】 回答がなかったということだが、本府への申し入れに関しても、本府が直前に申し入れた、申し入れに関して、防衛省の回答を見ても、地元の住民や自治体の声に、まったく耳をかさない、まったく背をむけるような態度というのがまさしくあらわれていると思う。アメリカと一緒に政府がこういう態

度を一緒にとる、これが今の日米両政府の態度ではないかと思う。こんな状況で、どうしてアメリカのレーダー基地の設置に関して住民や府民が「安心安全が確保された」と、こんなことをいくら繰り返かえしたところで、この言葉を信じることができないのではないかと思うが、知事はどう考えるか。

**【知事】** 私の回答をよく聞いてほしい。われわれはさきほど言ったように青森県の現地と事例を確認して、ジェット燃料は使われていないことを確認して、そのなかでさらにこれからもっと確認していくと言っているし、今回のオスプレイについても、事前に海兵隊員に聞いて直線的なものだという説明をうけた概要だからということをやっている。回答をよく聞いて、書いたものを読むんじゃなくてしていただきたいと思う。そのなかで今の場合は、これは米軍レーダーの場合は、われわれはしっかりと防衛省と協定を結んだなかで話である。それに対してオスプレイのほうは申し入れしたけれども、守られていないという状況であるので、かなり状況によって違うので、それを全部一緒にするのは私はちょっとおかしいと思う。

## 地元の住民や自治体の声に答えない日米両政府 協力は撤回を

**【ばば】** 姿勢の問題だと思う。車力のことで確認したというけれども、じゃあ京丹後ではどうなのか、ということとは全く確認できていないわけですね。こうした状況のなかで米軍と政府が一緒になって、こうした約束事も守らない。聞いていることにたいしても答えない。こんな姿勢では住民の皆さんの安心安全が確保できたとはいえないじゃないかと思う。知事がいくら協力を表明されても、地元では大きな怒り、不安の声が大きくなっている。地元で今、環境調査を求める新たな署名が取り組まれているし、12月15日には現地であらためて集会がおこなわれる。こうしたことが決まっている。新たな問題が次から次に出てくる中で、住民が求める環境調査もそうだが、あらためて知事の協力表明はしっかりと撤回すべきと思うし、府民の安心安全について、知事としてその役割をしっかりと果たしていただきたい、このことを強く求めておきたい。

## 本府の「正規雇用の取組」と知事の認識について

**【ばば】** 次に、青年雇用、特にブラック企業についてうかがう。

10月20日に東京の明治公園で開かれた全国青年大集会が開かれた。全国の青年が「まともな仕事、人間らしい暮らしを」と大きな声を上げたが、この集会に向けて、京都の青年が雇用アンケートに取り組んだ。アンケート結果を見たが、「ハローワークでどんどん求人を出して正社員を採用するが、仕事が見つくその多くがどンドンとやめていく」、こうした青年の声。「採用時に『3年でやめていい』」。こんなことを明確に言われたという青年もいる。「有給が取らせられない」。こんな声は当り前に広がっている。異常な働き方の実状がアンケートからまさしく浮かび上がっていると思う。

このように、青年雇用の中では、非正規はもちろん、正規の中にまで異常な事態が広がっているという様に私は考えている。総務省が発表した就業構造基本調査でも、正規雇用と言われる中に「実は契約期間の定めがある」と回答されている方や「期間の定めがあるのかもわからない」、こんな回答をされている方が256万人もいることが報告されています。総務省の調査の結果が示しているのは、まさに正規雇用にも大きく雇用の崩壊が及んでいること。このことがブラック企業の社会問題を新たに生み出して、大きくしている、こうしたことを示しているのではないかなと思う。

本府でも事態はきわめて深刻です。伏見区のある青年から話をうかがった。「派遣という働き方は、仕事の選択肢を増やしてくれる、こんな風に思っていたけれども実態はちがっていた。ただ単に使い捨てにされるだけだった」。こんな風に切実な声をうかがいました。本会議でも私たちは取り上げてきたNEC関連企業であったりロームのなかでは、リストラ部屋や退職強要、とともれる事態が広がっている。こうした中で現状の是正こそ私は必要と考える。本府は正規雇用の3万人の目標を掲げた。ここまで雇用の崩壊が進む中で異常な雇用の在り方そのものを是正こそが、あわせて求められると考えるが、知事の認識はどうか。

**【知事】** これはやはり、誰もが安心して働ける労働環境を確保される、これはやっぱり一番大きな重要な点であるので、法律については労働法令の順守と指導監督の強化と、労働局を中心に権限を持ってやっているわけですから、それに対して法令を守るようにと要請をしているところであります。

その上にたちまして、京都府として何ができるかということ踏まえて私どもとしては、4年間で正規雇用3万人創出を新たな目標としてしっかりと取り組んで行きたい。

## ブラック企業対策チームを立ち上げ 労働局と連携を

**【ばば】** 労働局が中心になって取り組んでいるとはなしです。ブラック企業が社会問題になっているが特徴としては量採用、大量解雇を繰り返すことが挙げられる。こうした労働者を使い捨てにして食べ物にしていく、こうした企業というのはやはり根絶をしていかなければならない。知事こうした中で国が労働局が中心になってと言われたが、国が先ずその役割を果たすのはいうまでもない。

我が党は国会のなかで、ブラック企業の根絶に向けて労働基準法の改正案を提案しました。

しかし、問題は極めて深刻だと先ほど説明した。今雇用が崩壊してブラック企業という社会問題が改めて大きく浮き彫りになっている中で、本府が果たす役割は求められていると思う。実態の把握と、問題の解決、この対応を進める特別な対策チームを労働局といっしょになって本府でも立ち上げていくことが必要ではないかと考えるがどうか。

**【知事】** これは犯罪に対して、警察といっしょになって犯罪捜査を行えという話になるわけで、それは守秘義務の問題から全部あるわけです。だから我々ができることは、企業の応援隊に入ったり、また、さまざまところでやっていく中で、気がついたらこれはきちっと労働局に連携をしたりまた、企業に対して改善を要望したりという形をとっている。そして、その上で就業に対しても正規雇用3万人を目指しているわけです。労働局と同じことをやれというのは無理がある。

**【ばば】** 労働局と同じことをやれと言っているのではない。労働局といっしょになって、今起こっている社会的な問題、これ重大ですから、この問題しっかりともう起こらないようにしていく、根絶していくために本府としてもその役割をしっかりと果たして行かなければいけない、このように言っているわけです。

その点は、ねじ曲げて捉えるのではなくて正面からしっかりと捉えていただきたいと思います。

雇用のあり方、これしっかりと確保していくのは将来においても持続可能な社会発展を目指していくためにも絶対不可欠なものです。技術継承していくためにも大切な問題です。建設業であったり伝統産業の中でも、もうすでに後継者であったり技術者、こうしたものの不足が深刻な問題になっています。正規雇用を含めたこの雇用の異常なあり方をしっかりと是正をしていくためには、雇用の目標、数の目標だけではなくて大企業に対して、たとえば内部留保活用進めて賃金の底上げ図っていくこのことを求める。または特別なチーム、対策チームしっかりと立ち上げて対策を図っていく、こうしたことが強く求められているしこの対策は本府に課せられた役割だと思うので認識していただきたい。

## 旧与謝の海病院・府立医大の北部医療センターの医療体制と医師確保について

**【ばば】** 質問の最後に、北部医療センターについて伺います。

北部医療の拠点として、府立医大の北部医療センターになった旧与謝の海病院ですが、住民が要望し続けてきた脳外科の体制など、計画と現実との間に大きなギャップがあることが書面審査の中で明らかになりました。

府立医大の学長さんからは、脳外科の緊急手術については、医師などの人員も手術室などの設備も整っていないので、手術が必要となれば他の病院へと搬送していると報告されました。

脳外科の体制強化を望み、「府立医大の附属病院になればすべてがうまくいく」かのような説明に期待していた地域の皆さんの願いとは異なる実態です。

医師不足についても、地域医療学講座の教授として、全国的にも有名なスーパードクターを呼んでくれば医師も集まってくる。そんな話もされていました。しかし、地域医療学講座についても、大学の学内報で募集の停止が発表されています。書面審査の中ではこのことについても、大学間で医師の取り合いになっている、医師の確保もあと1～2年はかかると報告されました。

まさに当初言っただけで、今大きく異なる現状がひろがっているわけだが、地元の自治体や住民に対して

は、しっかりと説明などはされているのでしょうか。

**【知事】**北部医療センターの診療体制についてですが、すでに外来患者は昨年に比べて、今年の9月末で1300人増えています。また、地域医療機関への医師派遣が年間のべ2200日以上で、昨年度の約5倍程度だ。数字的にはハッキリでている、いろいろとあげつらってらっしゃるわけだが、最初から申し上げているように脳外科について緊急手術ができるといっているのではなくて、決算委員会の回答みていただくとわかるのですが、週3日の外来診療を4日に拡充すると、答弁している。それをばば委員は北部医療センターに反対だったわけですが、期待はしてなかったと思うが、期待されているというのであれば我々はそれに対してまず第一段階とすれば期待に応える数字は出している。そして地域医療学講座については、しっかりとした先生を選ぼうじゃないかと、選考期間について少し時間をくださいと言っているわけで、まだ半年ですよ、医療センターができて、そのなかでこれだけ大きな成果をあげているのに、半年たってもきまらないじゃないか、これはちょっと今の医師不足の現状やそうしたものを考えれば随分無茶な話じゃないかと思います。そうした中でこれからも医療センターにつきましては、女性病棟での開設、さらに医療機器の増設、こうしたものを作って中核病院としての役割を果たしているからこそ、外来患者も増え、医師派遣も増えている。これは状況というものをしっかりと評価したうえで言っていたきたい。

**【ばば】**今地域の住民のみなさんのなかで問題になっている、脳外科医、緊急体制で体制を確保してほしいと、ずっとあげられてきたわけです。この願いに応えられない現状が広がっている。このことはしっかりと受け止める必要があると思う。やはり説明と違っている中で改めていい気のみなさんに対して、説明をされるということが必要ではないか。脳外科医を含む医療体制であったりとか、設備、医師確保の問題など北部は厳しい現状というのは何も変わっていない。こうした現状があるわけでこの状況をしっかりと改善する、そのことは知事に課せられた責任だと思う。知事が責任を持って今の北部の家用体制含めて今の現状しっかりと改善していかれるように、脳外科医の確保、総合診療医の確保、病院の整備こういったものをしっかりと進めていただくことを強く要望して質問を終わります。